

広 報

富士川

6 月 号

昭和52年 6 月 20 日 発行

No. 195

町 の メ モ

昭和52年 6 月 1 日 現在

人 口	16,723人
増 減	+17人
男	8,305人
女	8,418人
世帯数	4,073世帯
面 積	31.09 [㍔]

富士川町 企画課



— 町 の 古 き 所 その 1 —

昔はなかった交通公害 国道富士川橋の開通

大正13年8月に、この富士川橋は開通しました。木炭を燃料とした自動車、自転車、徒歩で橋を渡る風景がしのばれます。

橋が開通される前までは、富士川を渡船で富士方面へ往来するという不便さがありましたが、橋ができたことで、どんなに便利になったことか、便利になったというより当時としては驚いたことでしょう。

今日では、橋が出来て当然と思うし、道路や、それに付帯する施設は整備しなければなりません。しかし、道路などが整備されても、騒音や排気ガスなどの交通公害は社会の焦点となっています。

棄権せず！ 清い一票を

参議院選挙は7月10日(日)です

第十一回参議院議員通常選挙は、六月十七日公示され、七月十日(日)に選挙が行われます。今回選挙する議員数(半数選挙)は地方区七十六人、全国区五十人です。

町内六カ所の投票所で投票が行われますが、あなたの一票が国政をまかせる人を選ぶ大切な選挙です。よく考えて清い一票を投票しましょう。

この参議院議員通常選挙は「保革逆転」をめぐる戦いなどといわれ、激戦が予想されます。

物価、公害、福祉など数々の争点をめぐって各政党、各立候補者がそれぞれの施政を示してしのぎを削っています。

私たちの生活は政治と深いかわりをもっています。明るい豊かな生活をしていくためには、まず良い政治が行われるかどうかにゆだねられています。私たちは、自分の権利である一票を大切に、国政をまかせられる候補者を選びましょう。

選挙権のある人は

今度の選挙の選挙人名簿に登録されている人は、昭和三十二年七月十一日以前に生れた人で昭和五十二年三月十五日以前から、ひきつづき町内に住んでいる人です。

入場券は、六月三十日までになさんのお手元にお届けしますが入場券の届かなかった人は、町選挙管理委員会(電話01111番まで)へご連絡ください。

入場券がなくても、選挙人名簿に登録されている人は投票することができます。

また、入場券を紛失してしまっただ人も投票所へお出掛けください。

投票所は指定のところで

入場券に投票所を記入してあります。間違つて他の投票所へ行っても投票できませんので、指定されている場所で投票しましょう。

投票所とその地区

- ▼木島公会堂(第一投票所)
木島、小山、室野
- ▼町立図書館(第二投票所)
相生町、上町、舟山町、坂下旭町
- ▼中之郷中部作業所(第三投票所)
堺町、川坂、新町、新町四十
- ▼本通り公会堂(第四投票所)
本通一、本通三・四、幸町、東町一・二、日の出町
- ▼南松野公会堂(第五投票所)
南町、富士見町、桑木穴、八幡町

▼北松野公民館(第六投票所)

清水町、大北町、儘下町、大代

投票順序は

地方区・全国区の順です

まちがって書くは無効です

今日の選挙では、参議院議員の全国区と地方区の投票を行うこととなります。投票所は混雑すると思いますが、急がず、落ちついて正確に記入しましょう。

当日用事のある人は不在者投票しましょう

七月十日の投票日に仕事や旅行など、やむをえない用事がある投票所へ出掛けられない人は、前もって役場で投票することが出来ます。そのときは、印鑑をお持ちになってください。

病院に入院している人は、病院でも投票できる場合があります。早目に病院へ申し出てください。

不在者投票できる日は、六月十七日から七月九日までの午前八時三十分から午後五時までは(日曜日、土曜日でも時間内であれば投票できます)



一秒遅れても

投票できません

投票時間は、当日の午前七時から午後六時までです。

午前七時の時報を合図に投票所のドアが開かれ、午後六時の時報で閉められます。

明るい

選挙

富士川町選挙管理委員会

投票日七月十日(日)

午前七時から午後六時

各投票所

開票日七月十日(日)

午後七時から

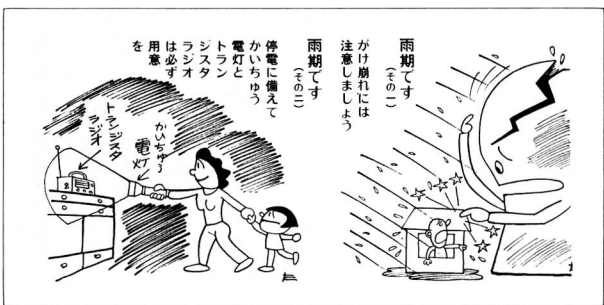
第一小学校体育館

日頃から心がけよう きれいな選挙

政治家や候補者などが、選挙区の人々に次のような寄付をすることは法律で禁止されています。

また、私たちが有権者も、このような寄付をねだると法律違反になりますから気をつけましょう。

- お祭り、集会などの寄付
- 開店祝いの花輪
- 結婚、入学などのお祝品やお金
- お葬式の香典や供花
- 団体旅行などの寄付
- お中元



七月 町のこよみ

日	曜日	行	事
1	金		社会を明るくする運動(7月1日~8月15日まで)
2	土		子供インリーダー一泊研修会(三日まで由比野外センター)
3	日		明るい家庭運動推進地区研修会(儘下会館)
4	月		
5	火		
6	水		遺族会靖国神社参拝(水上温泉一泊)
7	木		
8	金		
9	土		
10	日		参議院議員選挙投票日、ふるさと教室(福祉センター)
11	月		
12	火		
13	水		
14	木		
15	金		一中ブール竣工式
16	土		交通相談(役場)
17	日		郡身障者スポーツ大会(由比小体育館)
18	月		
19	火		
20	水		総合相談(福祉センター)
21	木		
22	金		まぎの木大学学習会(福祉センター)
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		家庭教育学級(町施設見学)
27	水		
28	木		
29	金		
30	土		
31	日		

四月九日に、庵原郡三町の会員百二十三人によって、日中友好協会（正統）庵原地区本部が結成されました。

山本県知事を団長とする「静岡県民の翼」の訪中を契機として、庵原三町における日中友好の気運はすばらしいものがあり、「県民の翼」の帰国報告会が郡下各地で開かれ中国に対する関心が一段と高まっています。

庵原地区本部は「中国を知りたい、中国に行きたい、中国と仲よくつきあって行きたい」を共通のスローガンとして、庵原三町の町長を先頭に、広範囲の各界、各層を結集して、郡下全町に支部を結成、日中友好運動の基礎を確立、県下の、この運動の発展に積極的な役割を果たしました。

五月三日から、名古屋市中で開幕した中華人民共和国展覧会には、庵原地区からも百六十人をこえる参観団が組織され、多くの人たちが新しい中国の現実にあふれ、認識も新たに躍進する社会主義建設に

日中友好協会 庵原地区本部結成

中国訪問団員を募集します

深い感動を受け友好も強めました。

この高まりを引続き発展させ、庵原三町民と中国人民との相互理解を促進して、中国との友好関係確立を目的とし、庵原地区各界友好訪中団を派遣するため、次のとおり団員を募集します。

▼募集期限
五十二年七月三十一日までに役場総務課へ

▼訪中時期と日程
五十三年四月、または六月十一泊十二日、または十三泊十四日間

▼訪問都市と参観内容
北京、石家荘、洛陽、西安を訪問、人民公社、工場、学校病院、名所旧跡などを参観

▼団の構成
団員数は三十名（三町で）

▼団員となる資格
。目的を承認して、帰国後も中国との友好のために力をつくす人

。産業や教育を通じて、中国と

の友好につくす健康な人

。団の計画に従って規律ある団体行動のできる人

。庵原郡下に居住または勤務する人

。所定の事前研修に出席できる人

▼団員の選考
団員となる資格に該当する人を、応募者の中から実行委員会にて選考します

▼健康で明るい町づくり
五月二十日、老人福祉センターで町体育協会の総会がひらかれました。

昨年は、体育協会が発足してから二十年を迎え「体育二十年史」を発刊し、健康で明るい富士川町を目指す基礎となり、河川敷スポーツ広場、夜間照明施設の整備、そして、一小、二小、社会体育館の使用も活発になり、町民の体育向上は成果があがっています。

また、総会で役員の改選がありました。新役員は次のとおりです。

▼会長 尾崎初男▼副会長 久保田幸男▼理事長 清堅司▼常任理事 若月伸元（陸上競技部長）望月貢（卓球部長）鈴木昭式（剣道

▼事前研修
訪中の趣旨、目的が十分達成できるように必要な学習、出国手続などの研修や説明を行います

▼経費
渡航費用は三十万円～三十五万円くらい。団費三万円（渡航費用には旅券印紙、予防接種、渡航中の個人的な費用、医療費は含まれていません）

部長 村山弘（野球部長） 斉藤三郎、錦織孝臣、丸山博康、植松昭雄（青年団長）▼理事、斉藤五夫、山島米蔵、武下晴夫、藤島肇、大村武、谷二郎、佐野泰章、久保田文夫（以上陸上競技部） 浦田誠一、関原輝雄、斉藤伊予雄、望月金作、山本満、堀池利幸（以上卓球部） 吉田鉦太郎、進藤章、渡辺晏敏、浦田耕司、河原一、大木三山、高橋友一、望月誠一、望月陽、小林信美（以上野球部） 吉田正伸、尾崎喜一郎、斉藤功、佐藤克幸（以上剣道部） 古木悦雄、斉藤隆（以上バレー部）▼事務局、村野幸三

▼顧問 望月康江、青柳一郎

※太字は町体育指導委員です。



— さあ、発進 —

自転車の安全な のり方テスト

— 第一小の四年生以上 —

第一小学校では、四年生以上を対象に自転車の安全な乗り方テストを行いました。

先に合格した生徒は除外して、まだ、合格していない生徒に対して実施しました。

最初に学科テストをやり、それに合格したものは校庭で実技テストを実施、実技テスト項目は、発進・横断歩道・左折右折・踏切・停止・走行中の各安全確認を主体のものでした。

生徒たちは、日頃の自転車の走行とは違い、婦交さん、交通安全協会のみなさんや先生の前なのでいささかあがりぎみでした。

町の二つとりの目標 きれいな 町にしましょう

町民憲章、ことしの目標「きれいな町にしましょう」は、子供会、老人クラブ、各地区、諸団体のご協力により推進されています。

各地区で側溝などの清掃も実施され、町内の水路もきれいになりました。しかし、時々、心ない人が空き缶やゴミを、せつなくきれいにされた水路に捨てての所を見かけます。また、山林・河川へのゴミ捨てはなかなかありません。

そんな時、清水町区のみなさんは、町の名所である「はたご池」をきれいにしようと、池のまわりの草刈り、池のほとりにベンチ作り、駐車場付近に、つつじを植樹されました。そのため、自然公園はたご池は、いままでも以上に生き生きしたようです。

坂下の子供会のみなさんは、毎月一回、国道一号線の横断歩道の掃除をかかさず実施しています。自分たちが使用する歩道橋は、自分たちの手できれいにしようという積極的に行っているものですが、このきれいな歩道橋を何んの気なしに渡っている人が多いのではないのでしょうか。

誰もが、何事にも感謝の気持ちをもって、わが富士川町も「きれいな住みよい町」になるでしょう。また河川敷の清掃も年二回行っています。



はたご池にベンチを /
清水町区のみなさん



一坂下歩道橋
坂下区の子供会のみなさんが
いつもきれいにしています



ゴミ入れのぬりかえ

清水町区のみなさん



こんなゴミを
河川へ捨ててあります

— イヤになるなあ、ぼくは（河川）—

町民ソフトボール

婦人バレーボール大会盛大に

好天に恵まれた五月二十九日、富士川河川敷広場で、町民ソフトボール大会が、六月五日、社会体育館で婦人バレーボール大会が、それぞれ盛大に行われました。ソフトボールは体育協会主催により、午前八時から参加チーム多数のもとに熱戦がくりひろげられました。

優勝は宮町チーム

▽優勝 宮町チーム

▽準優勝 東町・日の出町チーム

▽三位 小池チーム

▽上町チーム

婦人バレーは教育委員会社会教育課・体育指導委員会主催、婦人会協賛によって行われ、十八チームが参加しました。各チームともこの大会のため、連日練習しその成果は十分あらわれ、熱戦の連続でした。

四チームが郡大会へ

▽Aブロック

優勝 相生町チーム

▽Bブロック



婦人バレー大会開会式

連合青年団

団員研修会を開催

町連合青年団は、五月二十一日、二十二日の両日、団員研修会を宗清寺会館で行いました。



青年団研修会

善意銀行へ預託

(51・4・52・3)

(敬称略)

金額及び物品	氏名または団体名	区名
一〇〇、〇〇〇円	若月長作	川坂
五〇、〇〇〇円	佐野悦二	平清水
三〇、四五〇円	渡辺敏定	旭町
三〇、〇〇〇円	白井嘉一	原方
一七、六二〇円	望月恭治	堺町
一五、四四〇円	富士川町老人クラブ連合会	
一二、七四〇円	国道石油キグナス岩淵	
一〇、〇〇〇円	深沢義明	大北
一〇、〇〇〇円	丹羽たつ子	原方
五、〇〇〇円	渡辺一雄	三十坂
三、九四九円	宇多利児童館	
三、〇〇〇円	母と子愛読者の会	
二、六〇〇円	木楽会	木島
二、三〇六円	第一小旧一年一組児童	
二、一四六円	白寿会	宮町
七二六円	スーパードイツ川	
電気コタツ一式	劇団創炎	
オルガン 三台	すみや富士店	山田
竹ぼうし二十本	北斗会	
雑布 三六〇枚	幸和会	幸町
〃 一六二枚	鶴亀会	小池
〃 六〇枚	寿楽会	上町
〃 五〇枚	白寿会	宮町
雑布二五枚、トイレペーパー	奉塔会	旭町

お知らせ

水路工事により

交通規制を行います

環境整備事業の一環として、都市下水路工事を施行します。この工事によって次のとおり交通規制を行っていますのでご協力ください。

中小企業者のみなさん

夏季資金の利用を

五月二十日から七月十五日まで中小企業者のみなさんから、夏季資金の融資申込みを受けています。融資の条件は次のとおりです。

▼貸付金額 一企業者 二〇〇万円

▼貸付期間 五ヵ月以内（ただし最終期日は十一月末日です）

▼貸付利率 年六・七五割

▼保証料 年〇・七四割



夏期特別貯蓄運動実施中

六月十六日から七月十五日までの一ヵ月間「夏期特別貯蓄運動」の期間中です。

未来の生活設計やたくわえによって明日の希望を築くために、ボーナスや臨時収入などを貯蓄しましょう。

資源、エネルギーの制約など内外環境が一段と厳しさを増している折から、生活の安定と向上をはかるため、いままです以上に貯蓄が重要です。ボーナスや臨時収入などの計画的な使用をするともに貯蓄をして、明るい希望のある家庭を築いてください。

玄関の戸締りは厳重に

「ドロボウから家庭を守りましょう」

玄関は、家を留守にするとき、多くの家庭が最後の出口とします。ほかの出入口や多くの窓は締り用具で内側から戸締りすれば一応こそと足りませんが、玄関は外からも戸締りができなくてはなりません。そこで、玄関だけはどうしても錠が必要で、昭和五十年警察庁の犯罪統計からみても玄関から侵入するドロボウが一番多く、そのうちでも無締り状態が全体の半分近くを占めています。

指輪の持主をさがしています

ことしの二月十四日前にあつた、ある事件で犯人が持っていた指輪の持ち主を蒲原警察署でさがしています。盗難または落したと思われる方はいせんか。

もし、自分のものだと思われる方は、蒲原警察署刑事課までご連絡ください。

なお、指輪は〇・四五カラットのプラチナ台で、うらの刻印に数字の42、日の丸のなびいている旗印、ひし形の中に数字の900、長方形の中にP・Pとあります。



この指輪に
こころあたりの人は、

